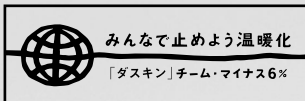


株式会社 **ダスキン**
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
TEL:06-6387-3411 (代表)
www.duskin.co.jp

第45期中間報告書

2006

4月1日～9月30日



2006年度(第45期) 中間報告書

2006年4月1日～2006年9月30日

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループは、2004年度からスタートした「改革と創生」を掲げた中期経営計画の中で、この2006年度は、計画の仕上げとして、「行動の年」と位置付けました。『あなたの喜ぶ顔が見たい』というスローガンのもと、さらにお客さまからご満足いただくために、多くの声を聞き、商品・サービスの開発やシステムの改革に着手しております。

また、企業統治や内部統制の強化には、最優先事項として取り組んでおり、今後施行される「日本版SOX法」へも積極的に対応してまいります。

さらには、当社は創業以来、“もったいない”の精神を継承し、ダスキンの展開する各事業分野においてもその思想は生かされ、省資源や再利用再資源化など環境への取り組み等、循環型社会の実現にも努めてまいります。

今後は、2007年度から始める次期中期経営計画を策定し、更なる飛躍がでるよう推進してまいります。国内では基幹事業の育成や新規事業開発、資本・業務提携などに注力します。また、海外においてもクリーンサービス事業・ミスタードーナツ事業を東南アジア地域に展開し、市場拡大を目指してまいります。

当社は、上場を機により一層消費者・お客さまに信頼され、愛される企業となるよう、健全で堅実な経営を目指してまいります。

皆さまには、引き続き、温かいご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
伊東 英章

目次

- 2 ごあいさつ
- 3 財務ハイライト
- 4 中間連結財務諸表の概要
- 6 中間単体財務諸表の概要
- 8 事業の概要
- 10 2006年度(第45期) 4月～9月のトピックス
- 11 会社概要／役員

財務ハイライト

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

中間連結決算

(単位:百万円)

	2002年度中間期 (第41期)	2003年度中間期 (第42期)	2004年度中間期 (第43期)	2005年度中間期 (第44期)	2006年度中間期 (第45期)
売上高	105,778	112,344	102,802	95,049	96,537
営業利益	6,312	6,509	6,759	6,769	7,905
経常利益	7,065	7,281	6,965	7,231	8,789
中間純利益(純損失△)	△2,876	4,327	1,510	4,821	4,978
資産合計	167,585	162,352	183,968	182,505	190,387
純資産合計	76,518	73,099	100,876	104,378	118,863

(注)2002年度～2005年度の純資産合計は、2006年度中間期と同じ基準で従来の資本の部の合計と少数株主持分を合算して記載しております。

中間単体決算

(単位:百万円)

	2002年度中間期 (第41期)	2003年度中間期 (第42期)	2004年度中間期 (第43期)	2005年度中間期 (第44期)	2006年度中間期 (第45期)
売上高	93,728	100,628	90,124	84,020	84,619
営業利益	4,965	5,028	5,877	6,126	6,796
経常利益	5,178	5,162	6,289	8,020	8,464
中間純利益(純損失△)	△5,037	3,371	131	3,417	4,931
資産合計	158,738	155,124	160,469	170,929	174,002
純資産合計	94,784	90,525	82,957	90,678	102,181

2006年度(第45期)中間連結決算の概況

当中間期における我が国の経済は、企業収益が高水準で推移する中、設備投資も引続き増加致しました。また、雇用者所得も緩やかな増加を続ける中、個人消費も増加傾向となり、景気は回復基調で推移しました。しかしながら、一方で原油高に伴う原材料価格高騰の影響もあり、必ずしも楽観視できない市場環境となっております。更に異業種間競争や価格競争も一層激化していることから、当社を取り巻く経営環境は、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような中で、当社グループは、既存事業の強化、新規事業の開拓と育成を図ると共に、生産面でのコスト削減等に取り組み、売上高は965億37百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益は79億5百万円(前年同期比16.8%増)、経常利益は87億89百万円(前年同期比21.5%増)、中間純利益は49億78百万円(前年同期比3.3%増)となりました。

中間連結財務諸表の概要

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

■ 中間連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	2005年度中間期 (第44期) (2005年9月30日現在)	2006年度中間期 (第45期) (2006年9月30日現在)	2005年度通期 (第44期) (2006年3月31日現在)
流動資産	68,527	62,455	61,710
固定資産	113,962	127,931	118,303
繰延資産	15	—	—
資産合計	182,505	190,387	180,014
流動負債	51,702	48,980	46,971
固定負債	26,423	22,542	24,019
負債合計	78,126	71,523	70,990
資本金	11,352	11,352	11,352
資本剰余金	5,165	8,200	5,165
利益剰余金	103,202	110,226	106,935
自己株式	△15,313	△11,661	△15,317
株主資本	104,407	118,117	108,136
評価・換算差額等	46	346	520
少数株主持分	△75	399	366
純資産合計	104,378	118,863	109,023
負債純資産合計	182,505	190,387	180,014

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

項 目	2005年度中間期 (第44期) (2005年4月1日～2005年9月30日)	2006年度中間期 (第45期) (2006年4月1日～2006年9月30日)	2005年度通期 (第44期) (2005年4月1日～2006年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,509	8,880	19,530
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,774	△9,191	△14,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,355	△745	△10,100
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	1	11
現金及び現金同等物の増減額	△6,617	△1,053	△4,663
現金及び現金同等物の期首残高	38,803	34,151	38,803
合併による現金及び現金同等物の増加高	11	—	11
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	32,198	33,097	34,151

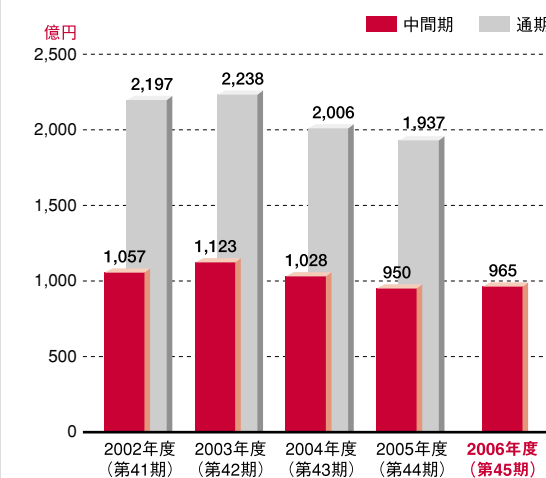
(注)2005年度通期及び中間期の現金及び現金同等物の期首残高には、新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高を含めております。

■ 中間連結損益計算書 (要旨)

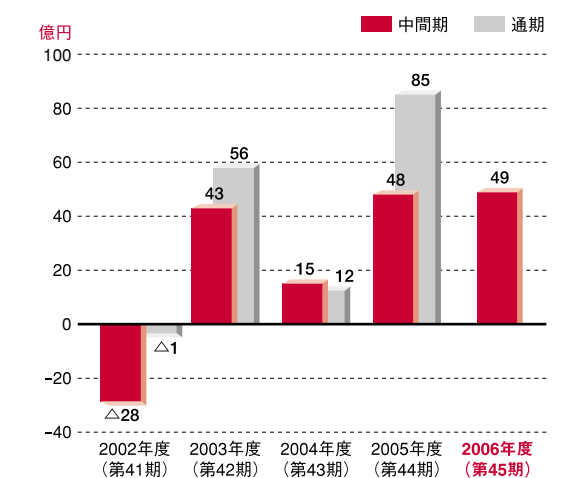
(単位:百万円)

科 目	2005年度中間期 (第44期) (2005年4月1日～2005年9月30日)	2006年度中間期 (第45期) (2006年4月1日～2006年9月30日)	2005年度通期 (第44期) (2005年4月1日～2006年3月31日)
売上高	95,049	96,537	193,756
売上原価	53,088	53,805	109,871
販売費及び一般管理費	35,191	34,826	72,809
営業利益	6,769	7,905	11,075
営業外収益	1,559	1,519	3,053
営業外費用	1,097	635	2,563
経常利益	7,231	8,789	11,565
特別利益	112	533	1,043
特別損失	424	174	1,832
税金等調整前中間(当期)純利益	6,919	9,148	10,776
法人税等	2,089	4,129	2,172
少数株主利益	8	39	48
中間(当期)純利益	4,821	4,978	8,554

■ 連結売上高



■ 連結中間(当期)純利益



中間単体財務諸表の概要

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

■ 中間貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	2005年度中間期 (第44期) (2005年9月30日現在)	2006年度中間期 (第45期) (2006年9月30日現在)	2005年度通期 (第44期) (2006年3月31日現在)
流動資産	60,256	52,776	52,868
固定資産	110,658	121,226	111,475
繰延資産	15	—	—
資産合計	170,929	174,002	164,343
流動負債	60,990	52,911	52,768
固定負債	19,260	18,909	19,168
負債合計	80,250	71,821	71,936
資本金	11,352	11,352	11,352
資本剰余金	2,732	3,784	2,732
利益剰余金	99,921	104,582	101,334
自己株式	△23,606	△17,971	△23,611
株主資本	90,400	101,748	91,809
評価・換算差額等	278	432	597
純資産合計	90,678	102,181	92,406
負債純資産合計	170,929	174,002	164,343

■ 中間キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

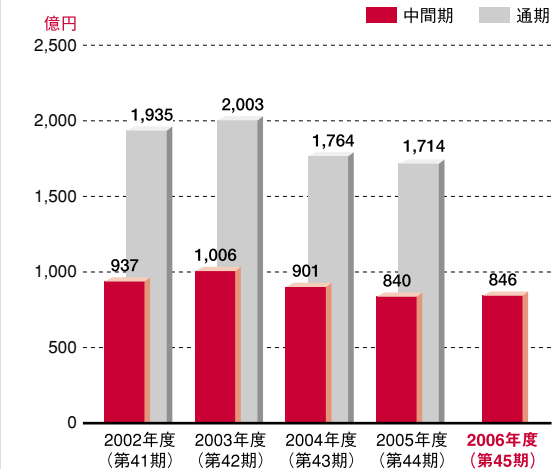
項 目	2005年度中間期 (第44期) (2005年4月1日～2005年9月30日)	2006年度中間期 (第45期) (2006年4月1日～2006年9月30日)	2005年度通期 (第44期) (2005年4月1日～2006年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,108	6,435	13,931
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,133	△9,196	△10,433
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,155	1,275	△4,272
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	2	2
現金及び現金同等物の増減額	△2,180	△1,482	△770
現金及び現金同等物の期首残高	28,788	28,017	28,788
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	26,607	26,534	28,017

■ 中間損益計算書 (要旨)

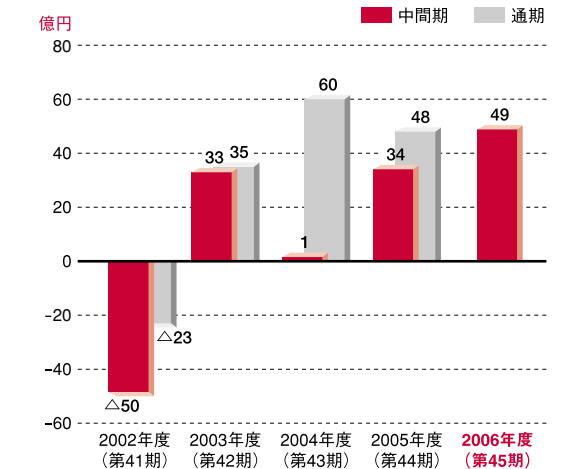
(単位:百万円)

科 目	2005年度中間期 (第44期) (2005年4月1日～2005年9月30日)	2006年度中間期 (第45期) (2006年4月1日～2006年9月30日)	2005年度通期 (第44期) (2005年4月1日～2006年3月31日)
売上高	84,020	84,619	171,495
売上原価	48,272	48,950	100,645
販売費及び一般管理費	29,620	28,872	61,256
営業利益	6,126	6,796	9,593
営業外収益	2,825	2,661	4,597
営業外費用	932	993	2,158
経常利益	8,020	8,464	12,032
特別利益	160	155	1,083
特別損失	2,237	160	4,114
税引前中間(当期)純利益	5,942	8,459	9,001
法人税等	2,524	3,527	4,170
中間(当期)純利益	3,417	4,931	4,831

■ 売上高



■ 中間(当期)純利益



事業の概要

(注) 記載数値未満の取り扱い、金額は切り捨て、比率は四捨五入して表示しております。

■事業の種類別セグメント外部売上高及び構成比

(単位:売上高/百万円、構成比/%)

セグメント	2005年度中間期(第44期) (2005年4月1日~2005年9月30日)		2006年度中間期(第45期) (2006年4月1日~2006年9月30日)		対前中間連結会計期間増減		2005年度通期(第44期) (2005年4月1日~2006年3月31日)	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率	売上高	構成比
愛の店関連事業	54,458	57.3	53,276	55.2	△1,182	△2.2	108,279	55.9
フードサービス事業	26,148	27.5	27,804	28.8	1,656	6.3	56,709	29.3
ケアサービス事業	9,638	10.1	10,238	10.6	600	6.2	19,260	9.9
その他事業	4,804	5.1	5,218	5.4	413	8.6	9,506	4.9
合計	95,049	100.0	96,537	100.0	1,488	1.6	193,756	100.0

売上高 構成比

その他事業分野合計 5,218 5.4

レントオール事業 ユニフォームサービス事業 ドリンクサービス事業 ダスキン共益株式会社 ダスキン保険サービス株式会社

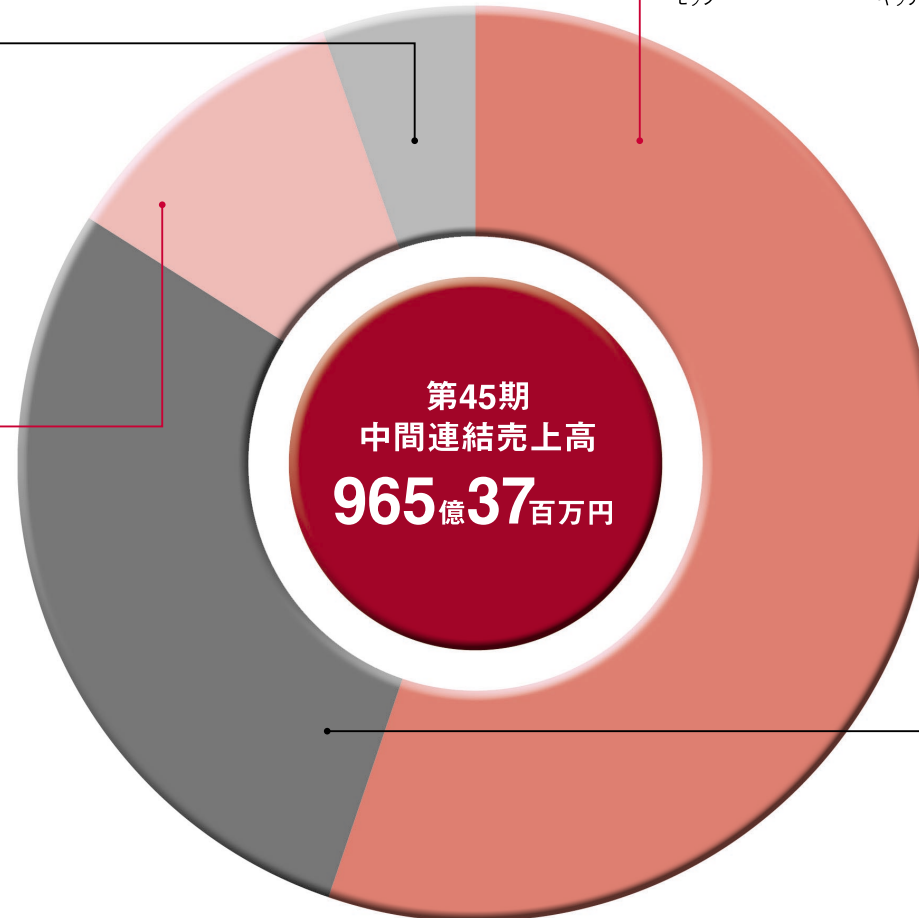
売上高 構成比

ケアサービス事業分野合計 10,238 10.6

ケアサービス事業

サービスマスター メリーメイド ターミニックス トウルグリーン

ホームインステッド事業 株式会社ダスキンヘルスケア 株式会社ダスキンゼロケア



売上高 構成比

愛の店関連事業分野合計 53,276 55.2

クリーンサービス事業

モップ キッチンフィルター 空気清浄機 マット

ヘルス&ビューティ事業

売上高 構成比

フードサービス事業分野合計 27,804 28.8

ミスタードーナツ事業 株式会社どん

フードチェーン事業

カフェデュモンド かつアンドかつ

2006 4~9 Topics

ダニアレ物質抑制成分配合の新モップが健康おそうじ提案とともに大ヒット!

2006年3月より「健康おそうじキャンペーン」を実施。ダニアレ物質抑制成分配合の新機能モップの発売とあわせてハウスダスト対策に効果的な掃除方法「健康おそうじ」を提案。アレルギーに関心の高い若年層を含む多くのお客さまから、コールセンターへの新規お申し込みやお問い合わせが殺到しました。また、マスコミ各社から「健康おそうじ」に関する取材依頼も多数あり、これをきっかけに「暮らしの快適化生活研究所」などが、おそうじアドバイザーとしてテレビ番組や新聞、雑誌からの取材に大活躍。「おそうじ=ダスキン」のイメージの定着も図れました。



6月 ミスタードーナツが「週刊ダイヤモンド」顧客満足度調査2年連続1位!

6月24日号の「週刊ダイヤモンド」における「顧客満足度調査」で、ミスタードーナツが昨年に引き続き「業種別ランキング・外食部門」で首位を獲得。「メニューの満足度から店員の接客態度の良さまで、総合的に満足度が高いのは、徹底した従業員教育のなせる業だろう」と分析され、ミスタードーナツのスタッフにとって大きな励みとなりました。



「週刊ダイヤモンド2006年6月24日号」▲

FCファンド投資がスタート!

ベンチャー企業のフランチャイズ展開支援・育成を目的に2006年3月に設立した「フランチャイズ・ファンド」の第1号投資が6月に実行されました。選定されたのは女性専用のコンビニエンスフィットネスクラブ「バタフライライフ」のフランチャイズ展開を計画する「N.A.gene(エヌ・エー・ジーン(株))」。フランチャイズ・ファンドでは、これからも、投資実行案件を定期的に検討しフランチャイズ展開可能な新しい事業を発掘していきます。

「ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業」第26期研修派遣生壮行会開催

広げよう愛の輪運動基金による「ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業」の第26期派遣生の壮行会が6月12日に開催されました。今回は、5名と3グループの計14名が選ばれ、それぞれが家族や職場の仲間などから激励をうけ、海外への研修に飛び立ちます。障害のある若者を海外研修に派遣するこの事業は、ダスキンの経営理念「喜びのタネをまこう」の実践であり、1981年より26年間、継続して実施されています。この研修の卒業生の多くは福祉のさまざまな分野で活躍しています。

4月 6名の執行役員を配置し新経営執行体制がスタート!

将来の経営を担う人材育成と、事業ごとの確実な売上アップを目指す成長戦略の一環として執行役員を配置。今回は6名が任命されました。執行役員は取締役会にも出席し、経営トップ判断を各事業の実務へ迅速に反映させています。

5月 「クリーンアップマイタウン」各地で開催

各地のイベント会場でブースを出展し、清掃活動と呼びかけるダスキンの新しい社会貢献活動「クリーンアップマイタウン」。5月の「博多どんたく」を皮切りに札幌の「YOSAKOIソーランまつり」、大阪の「オーサカキング」、名古屋の「メーテレ秋祭り」などで実施されました。総参加者数は、若いカップルや親子連れなど16,678人にもなると、「良いことなので、もっと大きな活動の輪へ広がっていくべき」という声が多数聞かれるなど、大きな反響を呼びました。



公的介護保険制度改正で需要の増加を見込む「ホームインステッド100号店」突破!

2000年6月に1号店をオープンし、2002年12月フランチャイズ展開をスタート。以後、順調に店舗を増やし、今期5月、ついに100店を突破しました。4月の公的介護保険制度改正により、制度の枠にとられないホームインステッドの需要がますます高まると見込まれ、今後も積極的に出店を進めていきます。

経営理念

一日一日と今日こそは
あなたの人生が(わたしの人生が)
新しく生まれ変わるチャンスです

自分に対しては
謙と徳とあらば謙の道をゆくこと

他人に対しては
喜びのタネをまくこと

我も他も(わたしもあなたも)
物心共に豊かになり(物も心も豊かになり)
生きがいのある世の中にする

定款に「経営理念」を盛り込む
経営理念を定款の新たな条文として加えることが、今期の株主総会で承認されました。創業者・鈴木清がダスキンを創業した目的は、事業を通じて社会に貢献すること。「喜びのタネまき」を通じて、世の中のお役に立つ、利益だけを追求するのではなく、お客さまに喜ばれてこそ価値があるという創業者の心を社員だけでなく、株主さま、お取引先さま、加盟店オーナーなど、ダスキンに関わる全ての方々と共有したいという願いからです。

8月 世界最大のピザ・チェーン「ドミノ・ピザ」のヒガ・インダストリーズ社と資本業務提携

企業価値の向上と事業基盤の強化を目指し「ドミノ・ピザ」を運営するヒガ・インダストリーズ社と資本業務提携契約を締結。ヒガ社は宅配ピザ業界の日本におけるバイオニアで、国内売上は業界第3位。今後は両社の強みであるフランチャイズビジネスと宅配ビジネスのノウハウを効果的に活かし、ビジネスチャンス拡大をさまざまな角度から模索していきます。



9月 映画「オープン・シーズン」とミスタードーナツのタイアップが実現

ミスタードーナツは、話題のソニー・ピクチャーズのフルCGアニメーション映画「オープン・シーズン」とのタイアップ企画を発表。ミスタードーナツとソニー・ピクチャーズというビッグネームのタイアップに、記者発表会には多数の報道関係者が詰めかけました。この冬、クリスマス商品「ミストノエル」は映画のキャラクターを使ったプレミアムグッズを開発し、映画との相乗効果により売上増を目指します。



ケアサービス事業本部「水まわりおそうじサービス」

プロのおそうじ「サービスマスター」の専門性と家事代行「メリーメイド」のきめ細かさをあわせもつ「水まわりおそうじサービス」が9月からスタート。各事業の加盟店が統一メニューとして取り扱うため、取り扱い店が増え、お客さまにとっては頼み易くなりました。本部、加盟店にとっては機会損失が防げ、売上増が期待されます。

1万点を超える笑顔が勢ぞろい! 第3回「あなたの喜ぶ顔」フォトコンテスト開催

年々広がる笑顔の輪。第3回目となる「あなたの喜ぶ顔」フォトコンテストに、前回は大きく上回る12,019枚もの笑顔の写真が寄せられました。優秀賞には、姉妹、親子、おばあちゃん、それぞれの心温まる笑顔をとらえた3作品が選ばれました。



優秀賞「春の笑顔」百崎 礼治さん(福岡県)▲



優秀賞「笑顔」日高 猛さん(埼玉県)▲

中国・上海進出へ、新会社設立
成長著しい上海市場に向けて、三井物産などと共同でクリーンサービス事業を展開する現地合弁会社設立を発表。今後、中国の国状に合うビジネスモデルを構築します。

会社概要

社名 株式会社ダスキン
【DUSKIN CO., LTD.】
本社 〒564-0051
大阪府吹田市豊津町1番33号
設立 1963(昭和38)年2月4日
資本金 113億5,294万円
(2006年9月30日現在)
従業員数 2,011名(2006年9月30日現在)

役員(2006年9月30日現在)

代表取締役社長	伊東 英幸
専務取締役	足立 勤 高田 宥
常務取締役	西山 精也
取締役	大熊 敬介 友井 正宏 西村 晴夫 長沼 洋一 宮島 賢一 山村 輝治 元岡 節三
社外取締役	坂本 允子
監査役	石見 道信 吉開 勲
社外監査役	新井 ふく 千森 秀郎